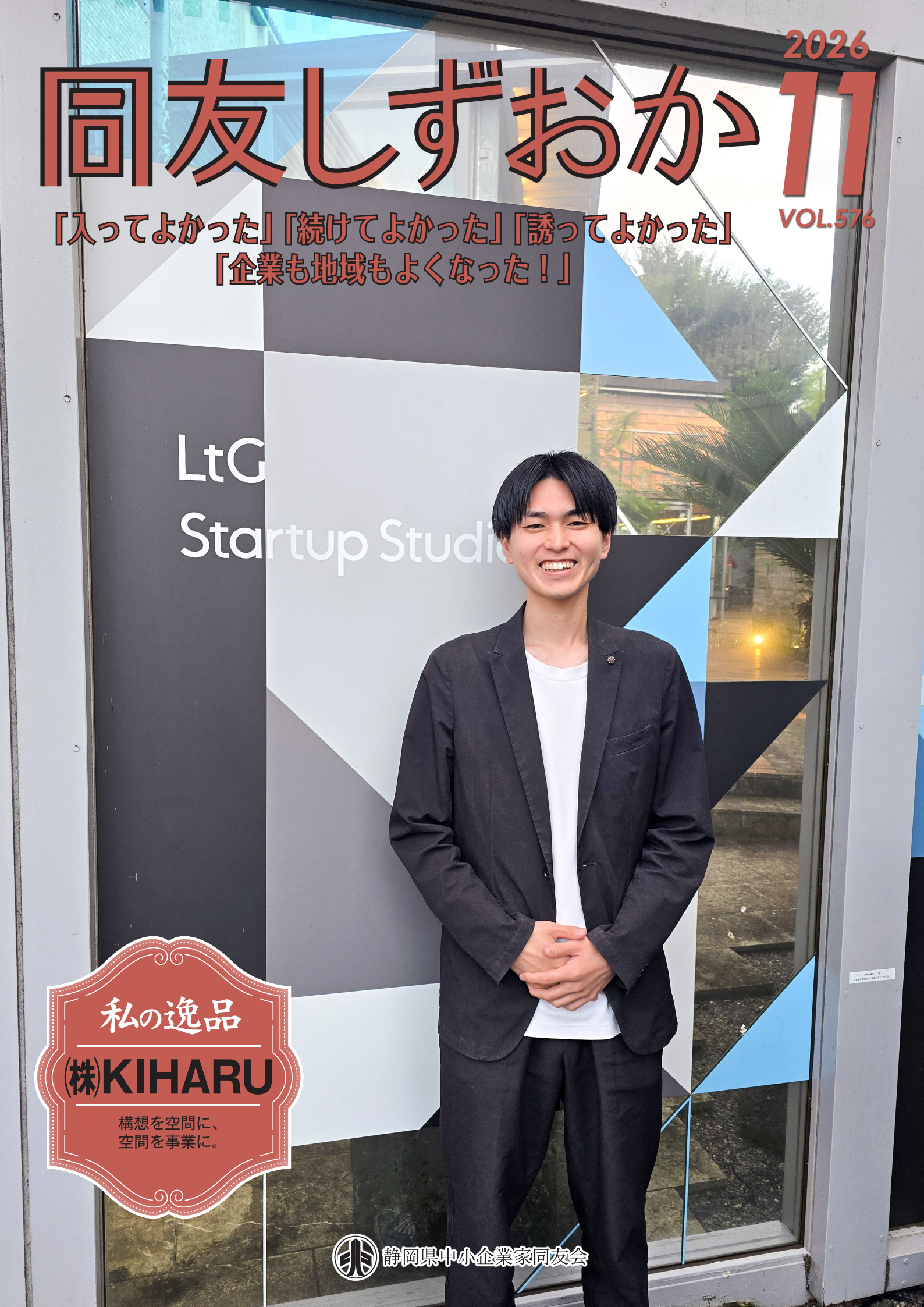
同友しずおか

2026 11

VOL.576

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」
「企業も地域もよくなった！」



私の逸品

㈱KIHARU

構想を空間に、
空間を事業に。

静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。

中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

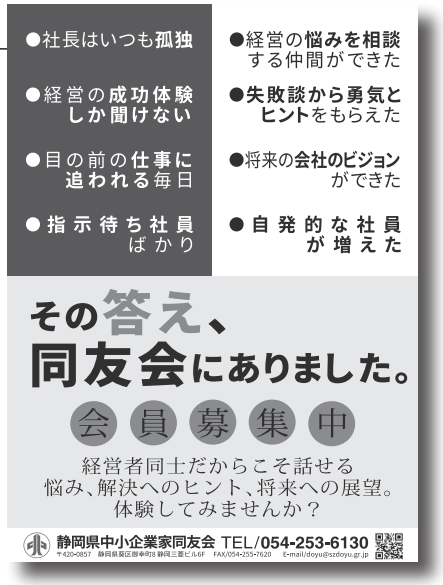
同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の矜持（きょうじ）と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 （敬称略） 会員数 1143名

所属支部	氏名	社名・事業	紹介者
伊東	中屋香織	Atami Stayle 移住コンサルティング	小林めぐみ
御殿場	前田大輔	㈱PockeT 飲食業（居酒屋中心）	益山卓哉
静岡	中原美華	麻華こども園 就学前のこどもの教育・保育	植松昌
浜松	竹内隆一朗	竹内フィルム 窓ガラスフィルム施工	江間省豪

名義人変更による新名義人 （敬称略）

所属支部	氏名	社名・事業	前名義人
富士	小野田芳孝	富士信用金庫 金融業	川島宏之

※新会員の写真は e.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。

私の逸品

構想を空間に、空間を事業に。伊豆の経済圏をつくる 空間デザイン×経営企画支援で、企業の挑戦に立ち上げから成長まで伴走する

㈱KIHARU（伊東支部）　取締役　但馬 佑規氏



但馬 佑規氏

地元で働く選択肢をつくる―NPO活動から生まれた問題意識

静岡県賀茂郡河津町出身の但馬佑規氏は、㈱ＫＩＨＡＲＵで空間デザインと経営企画支援を通じ、伊豆半島に新しい空間と事業を生み出す挑戦を続けています。根底にあるのは「10年後、20年後、地域の子どもたちが帰ってきたいと思った時に、働きたい仕事がある地域にしたい」という思いです。但馬氏は大学時代から子どもたちに自然体験を提供するＮＰＯ法人の活動に携わってきました。地域の子どもたちと接する中で、自分自身が進学・就職の際に伊豆に残るという選択肢をほとんど持っていなかったことに気付きました。「この子どもたちも、地元に仕事がないという理由で外へ出て、帰ってこなくなるのではないか」。この問題意識が、但馬氏が生まれ故郷である伊豆半島に戻り、地域で事業をつくる原点となりました。

地域に根ざした信頼構築を経営の軸に据える

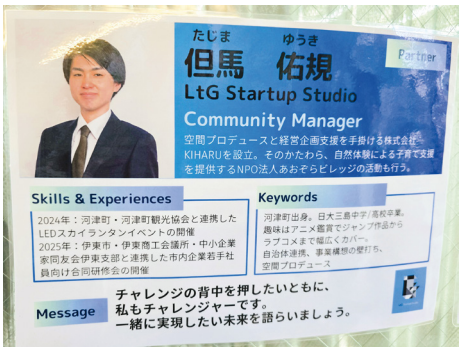
但馬氏は東京の経営コンサルティング会社で経験を積みながら、２０２４年に子会社としてMachiHubを伊豆で創業し、観光振興に取り組み始めました。東京と伊豆それぞれの地域で営業をする中で、地域によって商売への考え方が違うことに気づきました。東京では商品やサービスの優位性、生産性、コスト削減効果などを論理的に示しながらいかに多くの企業へ営業をかけるかが事業拡大のカギになります。しかし、伊豆では同じ方法は通用しませんでした。地域企業との取引では「何を売るか」の前に「あなたは誰なのか」が問われます。数字や合理性も重要ですが、その土台にあるのは人と人との信頼関係です。東京と同じ感覚で営業を行えば少しは仕事に繋がるかもしれませんが、地域の信頼を失えば継続的な関係を築くことはできません。こうした経験を通じて、但馬氏は地域に根付き、対話を重ねながら信頼をつくることの大切さに気付きました。そんな中、子会社立ち上げから約1年後、親会社が破産しました。量産型営業・量産型役務提供ではなく、じっくり対話を重ねる信頼構築こそが価値提供につながると考えるようになった但馬氏は、元親会社の事業手法への違和感からMachiHubを手放すことを検討し始めました。

経営の悩みを抱える中、同友会へ入会

経営の悩みを抱える中、ＳＮＳで見かけた同友会の東部４支部合同例会への参加が転機となりました。経営者同士が「より良い経営」を共に学ぶ姿に触れ、「良い会社をつくることが、良い地域をつくる」という理念に共感し、入会を決めました。

株式会社ＫＩＨＡＲＵの創業と伊豆経済圏の創出

強い会社を増やすだけでなく、人が滞在したくなる店舗やオフィスが必要だと考えた但馬氏は、空間づくりを得意とする実兄と組み、２０２６年４月にＫＩＨＡＲＵを創業しました。「空間デザイン」と「経営企画支援」を柱に、構想段階から開業後の経営まで「１００の言葉より１つの結果」を大切に伴走しています。但馬氏が見据えるのは、住民・スタートアップ・地域中小企業・金融機関・行政をつなぎ、伊豆全体のエコシステムをプロデュースすることです。目指すのは「浜松、静岡と並ぶ経済圏を、伊豆半島につくること」。大学時代に出会った子どもたちが大人になった時、「伊豆に帰って働きたい」と思える仕事と会社がある地域へ向けて、㈱ＫＩＨＡＲＵの挑戦は始まったばかりです。



プロフィール

取材・記事：足達 聖也氏
（㈱スマートステイ・伊東支部）

㈱KIHARU

〒411-0853　三島市大社町18-52
TEL：080-9488-2969
設立　2026年４月
社員数　３名
入会年月　2024年12月
事業内容　空間デザイン、経営企画支援

会員訪問記

運動を通じて、人と地域のつながりを広げる

VF㈱（㈱Th is is グループ）

店舗マネージャー／スーパーバイザー

鴇田 優磨氏（浜松支部）



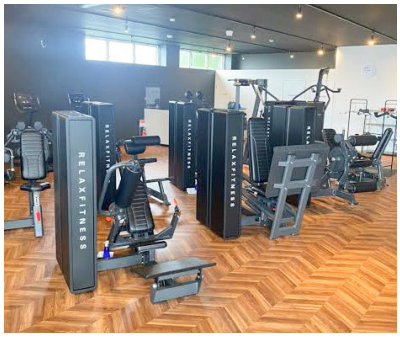
店舗前にて鴇田氏（右から１人目）と浜松支部会員の皆さん

創業について

㈱Th is is グループの鴇田優磨氏は、浜松を拠点にフィットネスジム「コレジム」の店舗運営と人材育成に取り組んでいます。仙台出身で、学生時代まで野球に打ち込み、高校時代のトレーナーとの縁から浜松へ。８年間不動産会社に勤務した後、「野球を生かした仕事がしたい」と考えて起業しました。その後、コレジム代表との出会いをきっかけに、野球少年がレッスンを受けられる環境とジムを組み合わせた施設づくりを目指し、事業に関わるようになりました。現在、鴇田氏は浜松・磐田・袋井・刈谷の17店舗の管理を担い、約40人のトレーナーと関わっています。

ジムを人と企業がつながる場へ

コレジムの特徴は、24時間利用できる環境に加え、初心者に寄り添った丁寧な指導と入会時のカウンセリングを重視していることです。利用者が「どうなりたいのか」を最初に確認し、目標達成までの期間や、その後の習慣づくりまで一緒に考えます。キッチンカーや野菜販売、美容・健康関連事業者との提携、健康イベントなど、ジムに来るきっかけを増やす取り組みも進めています。また、会員同士のつながりを生かした取り組みも特徴です。公式ＬＩＮＥには約1万1000件の登録があり、新店舗のＷｉ－Ｆｉ業者など、必要な人材やサービスを会員のネットワークから紹介してもらうこともあります。今後も、飲食店や美容院などと提携し、ジム会員向けのサービス「クロスクーポン」の立ち上げを進めています。さらに、ジム内のモニターを活用して、会員に向けた企業広告を試験的に始めるなど、ジムを人や企業がつながる場として活用する可能性も探っています。



充実したトレーニング設備

今後の展望について

鴇田氏が特に力を入れているのが人材育成です。スタッフ一人ひとりの収入や将来の生活、仕事を通じて実現したいことを聞き、それを日々の仕事と結び付けることで、「何のために働くのか」を明確にしています。採用では面談や評価基準を設け、働きやすい環境づくりや報酬・ルールの明確化にも取り組んでいます。その結果、トレーナーからの紹介による採用も生まれています。また、自社だけでなく飲食店や美容室、電気店など他業種の人材育成にも関わり、経営者と現場の間に入ってコミュニケーションを整える支援も行っています。同友会への参加のきっかけは、さまざまな経営者の考えや経験を知りたいという思いでした。

人材育成に関する学びを自社だけでなく他社にも生かしながら、地域の企業や人とのつながりを広げている鴇田氏。今後は、フィットネスを軸に健康づくりを支えるだけでなく、企業や地域との連携をさらに深め、人が前向きに働き、暮らせる環境づくりにつなげていきたいと語りました。



鴇田 優磨氏

取材・記事：花井 純氏（スペースプランニング㈱・浜松支部）

VF㈱（㈱This is グループ）

〒430-0926　浜松市中央区砂山町355-4
ハマキョウレックス駅南ビル3F4F

TEL：080-6030-9033

設立　2021年４月

社員数　トレーナー約40人（管理店舗）

入会年月　2025年12月

事業内容　コレジムの店舗運営、人材育成、フィットネス・パーソナルトレーニング等

県にじいろ共生委員会　東部地区関係機関との交流・意見交換会

できないことに目を向けるのではなく、できることを伸ばすためには

10月2日（金）　プラサヴェルデ　407大会議室

県にじいろ共生委員会では、東部・中部・西部と県内3か所で関係機関との意見交換会を開催しています。10月は沼津市にて東部地区関係機関との意見交換会を行い、当日は会員・特別支援学校教諭・障がい者就労支援機関など合わせて40名が参加しました。

今回は、ピリ睦氏（㈱Ｌａｌａ・沼津支部）と小林三芳氏、村松尚子氏（明電ユニバーサルサービス㈱）の3名から各社の障がい者雇用に対しての考えや取り組みを報告。3名が共通して、障がい者雇用で大切なことは、できないことに注目するのではなく、どうしたらできるのかを一緒に考えて支援することであるとお話いただきました。

その後、雇用をしていく上での問題点・各関係機関の方が感じることをテーマにグループ討論を実施。障がい者に限らず、当たり前だと思っていることも人によって感じ方や考え方に違いがあり、違いを意識して伝えることが、相手に分かりやすく伝えることにつながること。また、障がい者が感じている困りごとの中には、健常者にとっても共通するものがあり、それを考えることが、誰もが働きやすい環境について考えるきっかけになることが共有されました。

次回は、浜松市で11月27日（金）に西部地区関係機関との意見交換会を開催します。ぜひご参加ください！



誰もが働きやすい職場環境について理解を深め合う

県共育委員会主催　仕事の進め方・報連相力アップ研修

信頼される社員になるために学びあう

10月14日（水）　ペガサート

毎年10月に開催している県共育委員会主催の「仕事の進め方・報連相力アップ研修」が開催されました。本研修は、新入社員や若手社員に限らず、仕事上のコミュニケーションの基礎を改めて学びたい方を幅広く対象としています。当日は14社より22名の社員が受講し、申込み企業の社員や会員の見学参加もありました。開会あいさつでは、野川共育委員長（㈱野川商店・榛南支部）より、開催主旨と受講者への期待を伝えました。研修では、講師の須山由佳子氏（㈲キャリアアップ・浜松支部）より、落ち込んだ気持ちから立ち直る心の力である「レジリエンス」や、社会人としての心構え、報告・連絡・相談で大切なポイントについて伝えました。また、入社してからこれまでの振り返りを参加者全員が発表する2分間スピーチやグループディスカッションを通して、お互いの経験から学びあいました。

参加者からは、「レジリエンスでは、上司の指摘を事実と解釈に分析し、相手視点で考えることが重要だと学んだ」や「参加者同士で仕事での失敗や気づき、どうすればよかったのかについて話し合うことができた。同じような悩みや気持ちを抱えている方がいることを知り、私もさらに成長しようと思った」などの感想が寄せられました。また、仲間の意見や態度から刺激や学びに繋がったという声も多くありました。



「報・連・相」の質を高め、信頼される社員になるため共に学びあう

第54回青年経営者全国交流会in宮城

逆境こそ挑戦の舞台！

～〝旗〟を掲げ、共に未来を創ろう～

10月1日(木)～2日(金)　仙台国際センターほか

全体で１６４５名の参加登録のもと、第54回青年経営者全国交流会を宮城県で開催。静岡から24名が参加しました。１日目は３つの会場に分かれて18のテーマに基づく分科会を設営。第３分科会では静岡同友会より報告者として小野寺敦嗣氏（富士設計㈱・富士宮支部／県プロジェクト担当理事）、座長に関那積氏（㈱中部特機設備・静岡支部／県青年部会長）が登壇しました。２日目の全体会の様子は中小企業家しんぶん（２０２６．10．15号）に掲載されていますのでぜひご一読ください。

以下、第３分科会で登壇した小野寺氏の報告概要と関氏の座長まとめをご紹介します。



報告者の小野寺氏（右）と座長の関氏（左）

第３分科会
「人を生かす経営と向き合い、社員と共に歩む」
～じぶんづくり、かいしゃづくり、まちづくり～

報告者：小野寺 敦嗣氏
（富士設計㈱・富士宮支部／県プロジェクト担当理事）
事業：建設コンサルタント（土木設計、調査計画、維持管理、測量、補償コンサルタント業）
座長：関 那積氏
（㈱中部特機設備・静岡支部／県青年部会長）

小野寺氏は、冒頭に分科会テーマの21世紀型中小企業づくりに触れ、「じぶんづくり、かいしゃづくり、まちづくり」を切り口に自社実践を報告しました。

大学卒業後、小野寺氏は父が経営する富士設計㈱に入社しました。しかし、約１年後に父が急逝。父が残した会社を守ることを決意するもまだ若いことを理由に社員から反対の声があがりました。幹部会議の結果、株式を母が、社長は幹部社員が引き継ぎました。その後、小野寺氏は社員に認められるために必死に働きますが、孤軍奮闘するあまり社員との摩擦は大きくなるばかりでした。

転機は２０２１年10月、小野寺氏が専務取締役に就任し同友会に入会したことでした。河原﨑信幸氏（シンコーラミ工業㈱）の訪問をきっかけに積極的に会員訪問を始め、その中で簑威頼氏（㈱アサギリ）からの言葉のおかげでトラウマから解放されたと言います。その後、２０２２年11月に代表取締役に就任。全社員に向けて「社員が誇りを持てる会社にする」と決意表明しました。



社員への思いを語る小野寺氏

社長就任後、小野寺氏は父が同友会で理念を成文化していたことを知り、理念を引き継ぐことを決めました。父を亡くした時に最も強く抱いた「あんな思いは誰にもさせない、自社に関わる人とともにより良い未来を歩んでいきたい。」という想いを込め「Draw better future（より良い未来を描こう）」という社是を創りました。

よい会社づくりにむけて小野寺氏は、社員をよく知ることを目的に個人面談を始めました。社員と直接話をすることで、普段知ることができない社員の姿や思いを知り、それを形にすることが信頼関係を育てると気付き、「会社は人でできていると心から思うようになった」と小野寺氏は言います。また、社是である「Draw better future」実現のために、父の代から計画された新社屋建設計画を、社員を中心として再始動。２０２５年に無事完成しました。

同社はまちづくりにも積極的に関わっています。２０２５年度は富士宮市が行う親と子の施設巡りや静岡県の土木事務所と商工会議所が連携して行う地元高校への出前授業に参画しました。２０２６年４月には、この事業がきっかけとなり採用に繋がりました。土木事務所とは官民共同の研修の実施にも取組んでいます。

２０１７年10月１日の父の死から始まり、この10年間辛いことが数多くあったと小野寺氏は話します。そんな状況でも大事にしてきたことは、同友会の三つの目的の実践でした。報告の最後には「まだ道半ばですが、同友会での学びを自社に活かし、少しずつ会社が変わる中で、三つの目的の総合実践こそ同友会が提唱する21世紀型企業づくりに繋がると腑に落ちました。これからも三つの目的の総合実践を続け、誇りを持



第３分科会風景



座長まとめ　関氏

てる企業であり続けることを社員と天国の父に誓います。」と決意を述べました。

関氏の座長まとめでは、討論発表と小野寺氏が最も強く抱く「会社は人でできている。自社に関わる人の未来がより良いものになるよう経営者として形にしていく。」という思いに触れ、「21世紀型中小企業づくりの文言には『燃える』という言葉が出てきます。小野寺氏が心を燃やした最初のきっかけは怒りにも似た強い思いでした。そこから人々のより良い未来を描くという使命感に心が燃えるようになったときが、小野寺氏の経営姿勢が確立されたターニングポイントになりました。私たち経営者自身が、掲げた経営理念の実現にむけて誰よりも使命感に心を燃やし実践することで、自社を、そして日本をよくしていきましょう。」とまとめました。

〈参加者感想〉

■第２分科会
「人を生かす経営　変化が求められるこの時代で維持発展し続ける企業とは何か」

報告者：梶谷 俊介氏
（岡山トヨタ自動車㈱・岡山同友会）
平澤 本氣氏
（㈱A.モンライン・愛知同友会）
木本 康大氏
（㈱ファーストディレクション・岡山同友会）

報告を通じて、これまで自分自身が「人を生かす経営」の冊子を十分に読み込めていなかったことを反省するとともに、労使関係や企業経営における大切な考え方、様々な課題に対する答えが、この冊子に詰まっていることを改めて学びました。特に印象に残ったのは、「自分の子供には教育のためにお金を使い、送り迎えなどにも時間を惜しまない。それと同じように社員にもお金と時間を使えないのか」という言葉です。社員一人ひとりの成長に対して、経営者としてどれだけ真剣に向き合えているのかを考えさせられました。

今回の学びを自社の経営に生かし、社員の成長のために時間とお金を惜しまず、家族的で人間のふれあいのある労使関係を築いていきたいと思います。

小松 寛氏（㈲ヤマカ水産・沼津支部）

■第６分科会
「ひとりで背負う経営から、社員とともに描くビジョンへ」

報告者：山川 耕平氏
（㈱高洋商会・大阪同友会）

第６分科会では、家業にもどった報告者が、先代や古参社員との様々な葛藤を乗り越え、社員とともに新しい経営体制を築いてきた８年間の実践を報告されました。旧態然とした経営の中から、希望や誇りを見出し「会社を良くしよう」と、対立や挫折を繰り返しながら孤独に挑戦しつづけた報告者の姿は、多くの後継者の苦難を表していました。心身を病みかけた時に、同友会に出会い、志を共にする仲間がいることを知り、救われたと話されたことは印象的でした。同友会の学びや仲間の支援を受け、経営指針や10年ビジョンなどの経営改革を進める中で、報告者自身も、周りからの評価や目よりも、「良い経営者になろう」という自信と、さらに挑戦しつづける熱意をもった強い経営者へ成長していく報告でもありました。グループ討論でも、事業承継や変革に伴う困難や悩み、事例が多く語られました。挑戦するからこそ直面する壁があり、同友会には、その葛藤に共感し、弱みや悩みも受け止めて支えてくれる仲間が全国にいることを知れる機会にもなりました。青全交は、全国の後継者の経験に触れ、自社で踏み出す勇気と知恵を得られる場所です。事業承継に向き合う方にこそ、ぜひ参加してほしいと感じました。

臼井 康晴氏（臼幸産業㈱・御殿場支部）

同友しずおか
静岡県中小企業家同友会
コミュニケーションマガジン
2026年11月10日号　通巻576号　定価200円

11月・12月　DOYU CALENDAR

組織名	日程等	組織名	日程等
理事会	原則第4(木)開催	正副代表理事会	原則第1(木)開催
県事業(全会員対象)	役員研修会　11/9(月)15:00～20:00　場所：クーポール会館 よい経営環境をつくろう学習会　12/4(金)15:00～20:00　場所：クーポール会館		
諸機関との連携事業	公正取引委員会との意見交換会　11/5(木)13:30～14:30　場所：同友会事務局		

県委員会		県委員会・部会	
総務財務	11/24(火)16:00 場所：ペガサート・ZOOM	共同求人	共同求人委員会主催例会 11/19(木)19:00 場所：同友会事務局・ZOOM
組織増強	11/24(火)18:00 場所：ZOOM	にじいろ共生	11/16(月)18:30 場所：同友会事務局・ZOOM 西部地区関係機関との交流・意見交換会 11/27(金)19:00 場所：アクトシティ浜松 研修交流センター
広報情報化	広報情報化委員会主催例会 11/20(金) 19:00 場所：同友会事務局・ZOOM		
政策	12/1(火)18:00 場所：同友会事務局・ZOOM	青年部	11/6(金)18:00 場所：同友会事務局・ZOOM
例会企画	調整中	女性部	11/23(月)20:00 場所：ZOOM
経営労働 (経営指針を創る会)	調整中	共学ゼミ	11月ゼミ　開催予定
共育	11/24(火)14:00 「社員と経営理念を学ぶ研修」共育委員会開催 場所：ZOOM	企業変革	調整中

支部例会	日程・内容	役員会
伊東	■11月例会　11/12(木)19:00～21:00　場所：ひぐらし会館 ■12月例会　12/10(木)19:00～21:00　場所：調整中	e-doyuにて案内しています
御殿場	■11月例会　11/11(水)19:00～21:00　場所：御殿場市民会館 ■12月例会　12/9(水)18:30～20:30　場所：御殿場高原ホテル	
三島	■11月例会　11/21(土)19:00～21:00　場所：プラサヴェルデ ■12月忘年例会　12/18(金)　時間・会場：調整中	
沼津	■11月例会　11/21(土)19:00～21:00　場所：プラサヴェルデ ■12月例会　12/16(水)19:00～21:00　場所：プラサヴェルデ	
富士	■11月例会　11/26(木)19:00～21:00　場所：ロゼシアター ■12月例会　12/17(木)19:00～21:00　場所：調整中	
富士宮	■11月例会　11/10(火)19:00～21:00　場所：富士根交流センター ■12月例会　12/11(金)19:00～21:00　場所：富嶽温泉　花の湯	
静岡	■11月例会　11/10(火)19:00～21:00　場所：ペガサート ■12月例会　12/8(火)19:00～21:00　場所：清水テルサ	
志太	■11月例会　11/18(水)18:30～20:50　場所：BiViキャン ■12月例会　12/16(水)19:00～21:00　場所：調整中	
榛南	■11月例会　11/19(木)18:45～21:00　場所：牧之原市商工会 ■12月例会　12/17(木)18:30～21:00　場所：忘年例会	
中遠	■11月例会　11/19(木)19:00～21:00　場所：ワークピア磐田 ■12月例会　12/17(木)19:00～21:00　場所：ワークピア磐田	
浜松	■11月例会　11/12(木)19:00～21:00　場所：クリエート浜松 ■12月例会　12/10(木)19:00～21:00　場所：調整中 ■12月忘年例会　12/18(金)19:00～21:00　場所：調整中	
全国行事 (全会員対象)	■第57回中小企業問題全国研究集会in岡山　2027.2/18(木)～2/19(金)	



《 あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください 》

発行所：静岡県中小企業家同友会　doyu@szdoyu.gr.jp　/　編集者：県広報情報化委員会
〒420-0852 静岡市葵区紺屋町4番8 ガーデンスクエア第3ビル5階B　TEL：054-253-6130(代表)　FAX：054-255-7620　http://www.szdoyu.gr.jp